

京都大学大学院 遺伝カウンセラーコース 15周年記念誌

15th Anniversary Commemorative Issue.
Genetic Counselor Course, Kyoto University School of Public Health

2021年3月

京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻
遺伝カウンセラーコース

京都大学大学院遺伝カウンセラーコース 15周年記念誌



2021年3月

巻頭挨拶

京都大学大学院遺伝カウンセラーコース 設立 15 周年を迎えるにあたって



小杉 眞司

厚生労働省「遺伝子医療の基盤整備に関する研究」（古山順一兵庫医科大学教授：1998年度－2004年度）の分担研究「認定遺伝カウンセラーの養成と資格認定に関する研究」班では、日本遺伝カウンセリング学会・日本人類遺伝学会とともに、医療専門職として非医師の「遺伝カウンセラー」を導入するために、人材育成の到達目標や制度設計を行い、2005年度より、認定遺伝カウンセラー制度委員会により認定遺伝カウンセラー認定試験が開始された。国民に信頼される資格とするため、米国と同様に修士課程相当での教育カリキュラムとし、知識レベルでは臨床遺伝専門医と同等、技術レベル・態度レベルでは上回るものを認定することとなった。

時を同じく、京都大学遺伝カウンセラーコースは、2005年5月に科学技術振興機構（JST）による科学技術振興調整費「新興分野人材養成プログラム」として、「遺伝カウンセラー・コーディネータユニット」が採択されたことに始まる。京都大学の遺伝カウンセラーコース・臨床研究コーディネータコース、近畿大学の遺伝カウンセラー養成課程の合同プログラムである。2006年4月に第1期生が入学し、JST支援終了後も継続して遺伝カウンセラーの養成を実施し、2020年には15期生が入学した。これまでで54名となる。

毎年、様々な才能と意欲にあふれる院生が入学してきており、多様性を尊重する方針のもと、京都大学らしい自由な雰囲気の中で勉学・研究に打ち込んでいることを大変うれしく思う。これは、コースに関係していただいた多くの教員の熱心なご指導の賜物でもあり、深く感謝するものである。また、多くのリソースの恩恵にあずかったことにも感謝したい。

遺伝カウンセラーコースの開始時には当然認定遺伝カウンセラーは我国にはほとんどおらず、臨床遺伝専門医が中心になって教育指導するしかなかった。しかし、15年を迎え、卒業生の認定遺伝カウンセラーを新しく発足する共同研究講座の教員として迎え入れることができるようになった。本来、認定遺伝カウンセラーは認定遺伝カウンセラー自身が教育すべきものであり、やっとその原型を作ることができた。2021年には認定遺伝カウンセラー養成校は23校と増える。今後も多くの遺伝カウンセラーコース卒業生に全国で中心的な活躍を期待したい。

令和2年12月1日

目 次

巻頭挨拶	小杉 眞司	3
1	思い出のアルバム	7
2	京都大学大学院遺伝カウンセラーコースの歩み	13
	遺伝医療への関わりと遺伝カウンセラーコースについて	14
	最近の主要な論文等	25
	森徹先生について	26
	入学者数の年次推移	27
	認定遺伝カウンセラー認定試験合格者数の年次推移（累積数）	27
	課題研究一覧	28
3	遺伝カウンセラーコースの在校生・卒業生による教室関連業績集	31
	遺伝カウンセラーコースの在校生・卒業生による教室関連業績集	32
	就職先一覧	37
4	寄稿	39
	教職員（現職およびOB）	40
	お世話になった先生方	47
	卒業生	87
	在校生	106
	編集後記	110
